

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	鈴木 貞信	会員番号:	13645	事務局整理記入欄	北海道 - 195
分水嶺区分	1011m地点～H061浮島峠～H060 946.2	(3) 山行日:	2005年	5月	15日	(4) 天候	曇小雨・積雪1.2m

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

SL 漆崎 隆	13040						
漆崎 裕子	13041						
CL 鈴木 和夫	13172						
鈴木 貞信	13645						
計		4名				計	

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: C1 P972 C895 P912 H061浮島峠 P924 H060 946.2 R273浮島トンネル上													
アプローチ: 浮島トンネル北口 北見峠(デポ車) 札幌													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	1100m地点												
分水嶺到達点	1100m地点	雄柏山	143	0	28.3	43	55	29.1	1,011		6:00	B-4	(9) C - 1
	P972	天塩岳	143	0	8.6	43	55	36.0	984	6:10	-	B-4	(9)
	C895	天塩岳	142	59	24.8	43	56	11.8	916	6:40	-	B-4	(9)
	P912	天塩岳	142	59	4.3	43	56	29.0	911	7:05	7:20	B-4	(9)
H061	旧道浮島峠	天塩岳	142	58	53.0	43	56	35.9	885	7:30	7:40	B-4	(8)・(9)
	P924	天塩岳	142	58	25.7	43	56	29.9	937	8:00	-	B-4	(9)
H060	946.2	天塩岳	142	57	59.1	43	56	16.8	948	8:25	8:45	B-4	(9)
分水嶺離別点	浮島トンネル上	天塩岳	142	57	5.7	43	55	54.8	930	9:25	9:30	B-4	(8)
歩行終了点	浮島トンネル北口	天塩岳	142	56	42.9	43	56	17.4	624	10:40		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												3時間40分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H060	946.2		不明	不明	積雪のため確認出来ず。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

旧道路交点H061浮島峠には、「浮島峠」の道路標識があるが、地形図上の分水嶺から60m南にずれている。 分水嶺下をR273浮島トンネルが通っている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺の南側はシラカバ、ダケカンバ、エゾマツ、トドマツなどの疎林、北側は崖状の急斜面になっているが、「南の川」周辺は樹林帯となっている。

(10) その他の特記事項

ウグイス、コゲラ、シジュウカラなどの鳥の他エゾテンにも会えた。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 前回(山行報告書:北海道 - 188)のテープにタッチ

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

--



前回(山行報告書:北海道 - 188)のテープにタッチ